

# C 3 協働学習

## 協働制作

### イラストに見るICT活用のポイント



- ・グループで内容や役割を分担して活動します。共同作業ができるアプリを使用し、互いの作品を共有したりしながら作品を仕上げることができます。
- ・デジタルデータは複製ができるので、人に提供した後も自分の手元にもデータが残るので、いろんな人のデータと組み合わせる新しいものができる可能性があります。

### 具体的な授業場面



#### ◆ 画面共有ツールでデータの共有

イオンの移動の様子を図示するとき、画面を共有してそれぞれが書き込みを行います。この場合、誰かが書き込めば、自分の画面にもそれが反映されるので、お互いが必要な内容を書き込みながら議論し、1つのイメージ図を完成させます。



#### ◆ スライドの転送・共有

分担して作ったスライドを無線通信を使って共有します。デジタルデータなので、自分の端末にもデータが残り、それぞれがスライドを相互に送り合った後はさらにそれらを組み合わせて自分なりの展開を考え、その後発表し合ってグループの意見としてまとめます。

### 活用に向けての教員のセルフチェック

- 分担して活動できる学習課題を準備することができる。
  - 分担して活動できる学習用アプリの機能を知っている。
  - 分担作業中の活動内容に差が開き過ぎないように個別支援できる。
  - 分担作業や共同作業で得られる学びの意義について児童生徒に説明できる。
  - 試行錯誤の時間を確保した単元設計ができる。
- ※セルフチェックで☑がつかない項目は、校内での教え合いや自主研修で活用できるようにしましょう。